

年表で綴る・・・安曇野市誕生まで

原始～古代

小さな河川沿いに集落を形成

市内では、現在約 400 カ所の遺跡が確認されており、集落形成の過程をうかがい知ることができます。

縄文時代には、山麓の小さな河川沿いに集落ができ始め、中期にはその規模が大きくなりました。

弥生時代には、米作りが本格的に始まり、古墳時代には北アルプス山麓や犀川の段丘上に古墳群が形成されました。

安曇野を開いたといわれる安曇族は、北九州に起こり、その後豊かな土地を求め、いつしかこの地に移住したと伝えられています。彼らは北九州や朝鮮半島を本拠地とする海人（あま）族と言われており、朝鮮半島や中国を行き来し、紀元 6 世紀ごろに安曇野へ移住、船によって大陸の文化も運んできたと考えられています。

大和朝廷での海人族は、海部（あまべ）などと呼ばれて海岸の業務を取り締まる任務を果たし、また、朝廷に海産物を献納していました。

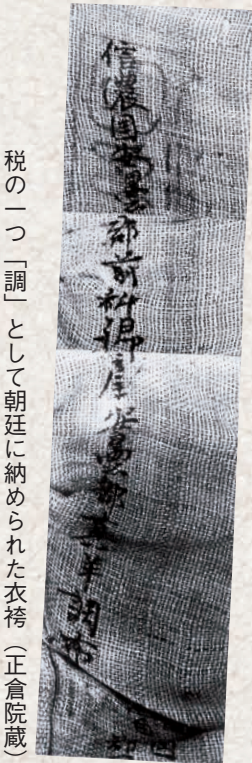
穂高神社の若宮には阿曇比羅夫（あづみのひらふ）という人物が祀られています。663 年、大和朝廷が唐・新羅（しらぎ）の連合軍と戦った際、阿曇比羅夫が大將として朝鮮半島に渡り、戦ったとされています。

古代～近世

安曇郡には高家郷・八原郷・前科郷・村上郷の 4 郷

奈良・平安時代になると現在の集落とはほぼ同じ場所に集落が形成されます。平安時代に編纂された『和名類聚抄（わみょうるいじゅしょう）』によれば、当時は、安曇郡は高家郷・八原郷・前科（ささしな）郷・村上郷の 4 郷があったといえます。奈良県の正倉院には、天平宝字 8 年（764）に信濃国安曇郡前科郷（明科七貴～池田町あたりか）から調（特産品）として納められた、麻布製の衣袴（えこ）が保存されています。当時麻がこのあたりの特産品であったことが分かります。

平安後期から鎌倉時代にかけて、全国的に未開発地や荒廃田の開発が進みました。地方の豪族たちの中には、税の厳しいとりたてを免れるため、自らが開発した土地を貴族や寺社などに寄進して庄園とする者もあらわれました。安曇野でも、矢原庄や住吉庄などの庄園がみられます。また年貢をお金で納めるために、農作物をお金に換える市場も開かれました。



税の一つ「調」として朝廷に納められた衣袴（正倉院蔵）



原始、古代、中世、近世

時代	西暦	出来事
南北朝・室町	1333 年	建武の新政
	1400 年	大塔合戦で仁科氏ら大文字一揆が小笠原氏を破る
	1552 年	武田氏が小岩嶽城を攻め落とす
安土桃山	この頃、安曇・筑摩両郡が武田氏の統治となる	
	1567 年	安曇・筑摩両郡の武士たちが生島足島神社で武田信玄に忠誠を誓う
	1582 年	武田氏が織田軍に攻められ滅亡する 安曇・筑摩両郡が木曾氏に統治される 本能寺の変 安曇・筑摩両郡が松本城主小笠原氏に統治される
江戸	1600 年	関ヶ原の戦い
	1603 年	徳川家康が征夷大將軍に任じられる（江戸幕府の成立）
	1654 年	臼井弥三郎が中心となり、矢原堰を開削する
	1686 年	貞享騒動が起き、多田加助ら首謀者 28 名が処刑される
	1725 年	戸田氏が松本城主となり、川手の村々（当時は麻績組）は幕府領となる
	この頃、安曇地方に多くの道祖神が造られ始める	
	1814 年	十返舎一九が成相新田町村や満願寺を訪ねる
	1816 年	等々力孫一郎、中島輪兵衛、平倉六郎右衛門らが拾ヶ堰の開削工事を完成させる
	1832 年	犀川通船開始
	1847 年	善光寺地震 市内一部地域で山崩れ
	1853 年	ペリー率いるアメリカ東インド艦隊が浦賀に来航する
	1867 年	大政奉還
	1868 年	戊辰戦争 江戸幕府が新政府軍に降伏する

南北朝・室町時代には小笠原氏や仁科氏などの勢力下に置かれ、その後甲斐の戦国大名・武田氏の領国となります。江戸時代の幕藩体制下では、松本城主の支配となりました。

安曇野は必ずしも豊かな土地ではなく、扇状地で土壌が砂礫質のため、農業用水の確保が困難でしたが、承応 3 年（1654）にできた矢原堰、貞享 2 年（1685）にできた勘左衛門堰、文化 13 年（1816）にできた拾ヶ堰などが水田開発に道を開きました。

貞享義民騒動

水野氏が松本城主であった貞享 3 年（1686）全国的にも有名な農民一揆、「貞享騒動」が起きました。その中心的リーダーが、多田加助です。加助たちは神社の拝殿で密議の上、「5 カ条の訴状」を捧げ、年貢軽減などを松本藩の郡奉行に願い出ます。このことを知った松本平の 1 万人もの農民が、城下に押し寄せる騒ぎになりました。願いはいったん聞き入れられたものの、1 カ月後にはなかったものとされ、この騒動を指揮した罪で加助とその同志らははりつけや、打ち首の刑に処されたのです。

拾ヶ堰の偉業

拾ヶ堰の全長は約 15 キロメートル。奈良井川の水を取水し、梓川を横掘。安曇野の水田約 1,000 ㍴を潤し烏川に流れ込んでいます。かんがい地域が旧 10 カ村に及ぶことからこの名が付けられました。工事は延べ 67,000 人余を投入し、わずか 3 カ月間で完成。26 年に及ぶ構想、先人たちの深い知恵と高い技術、目標を掲げて協力し合う尊さなど将来まで語り伝えたい安曇野の歴史の偉業です。



江戸時代の松本藩絵図（松本市立博物館蔵）○印辺りが安曇野市

◆年表（参考文献：『安曇野の郷科書』）※青文字は安曇野市の出来事

時代	西暦	出来事
縄文	前 13,000 年頃	定住生活、土器や弓矢の使用開始
	前 5,000 年頃	安曇野に集落が出現（ほうろく屋敷遺跡ほか）
	前 2,500 年頃	明科光の北村遺跡（昭和 62 年 <1987> に約 300 体の縄文人骨発見）
弥生	前 9 ～ 8 世紀	西日本で水田農耕の開始
	紀元前後	安曇野で農耕集落の成立（黒沢川右岸遺跡、みどりヶ丘遺跡）
	57 年	後漢光武帝が「漢委奴国王」金印を奴国王に与える
古墳	3 世紀頃	卑弥呼の時代
	6 世紀頃	西日本を中心に前方後円墳などの古墳造営が開始される
		仏教伝来 北アルプス山麓や明科潮地区で多くの古墳が造られ始める（副葬品は土器、馬具、玉類、直刀など）
飛鳥・奈良	645 年	大化の改新
	この頃、明科地域に瓦葺の寺院（明科廃寺）が建立される	
	710 年	平城京を都とする この頃、安曇郡ができ、後の『和名類聚抄』に高家、八原、前科、村上の 4 郷の名前がみえる
平安	794 年	平安京を都とする
	征夷大將軍坂上田村麻呂が蝦夷討伐に赴く	
	「延喜式神名帳」に穂高神社の名前が載せられる	
鎌倉	927 年	平氏が滅亡する
	1185 年	源頼朝が諸国に守護・地頭を設置する
	1192 年	源頼朝が征夷大將軍に任じられる
	1317 年	明科地域の光久寺の木造日光・月光菩薩立像が造られる



東小倉遺跡（縄文時代中期）



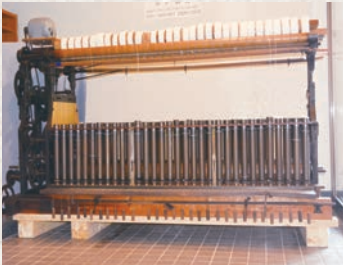
穂高古墳群（6 世紀後半から 7 世紀）



明科廃寺跡（7 世紀後半創建）から出土した瓦

近代、現代、安曇野市誕生まで

時代	西暦	出来事
明治	1869 年	版籍奉還 この頃、廃仏毀釈により安曇地方の多くの寺院が荒廃する
	1871 年	廃藩置県 安曇・筑摩両郡は松本県（のちの筑摩県）に属する 藤森桂谷が実践社を開設
	1873 年	地租改正 臥雲辰致が太糸紡織機（ガラ紡）を発明
	1876 年	筑摩県を廃し、長野県へ併合する
	1879 年	南安曇郡役所を豊科に置く
	1880 年	松沢求策らが奨匡社を創立
	1889 年	大日本帝国憲法発布
	1894 年	日清戦争開戦
	1898 年	井口喜源治が研成義塾を開設
	1902 年	篠ノ井線全線開通
	1904 年	日露戦争開戦
	1910 年	荻原碌山（守衛）が彫刻「女」を制作 宮下太吉らが爆発物取締罰則違反で逮捕される(大逆事件のきっかけ)
大正	1914 年	第 1 次世界大戦開戦
	1916 年	信濃鉄道全線開通（現 大糸線・信濃大町駅まで）
	1923 年	関東大震災
昭和	1937 年	飯沼正明が純国産機・神風号で東京ーロンドン間の飛行に成功 日中戦争開戦
	1939 年	第 2 次世界大戦開戦
	1941 年	太平洋戦争開戦
	1942 年	清沢冽が『暗黒日記』を書き始める
	1945 年	有明村（現 穂高町）が B29 による空襲を受ける
	1945 年	太平洋戦争終結
	1953～1961 年	昭和の大合併
	1954～1957 年	旧 5 町村（豊科町、穂高町、三郷村、堀金村、明科町）が誕生
	1966 年	松本空港開港
	1969 年	TBS「ポーラテレビ小説」で、新宿中村屋を創業した相馬愛蔵（穂高白金生まれ）とその妻・相馬黒光の半生を描いたドラマ「パンとあこがれ」が放映される
	1970 年	井上靖、川端康成、東山魁夷が安曇野来訪 県営ほ場整備事業開始
	1971 年	豊科町が区域区分（線引き）を導入
	1975 年	NHKの朝の連続テレビ小説で、安曇野を舞台にした作品「水色の時」が放映される 若い女性向けファッション雑誌 an・an、non・no などで「安曇野」が紹介され、多くの人々が訪れるようになる
	1978 年	やまびこ国体開催（主会場：松本市）
平成	1981 年	安曇広域農道全線開通
	1988 年	長野自動車道豊科 IC 開通
	1993 年	長野自動車道全線開通
	1998 年	長野冬季オリンピック開催
平成	1999～2010 年	平成の大合併
	2002 年	県営烏川溪谷緑地（水辺エリア）開園
	2004 年	国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区開園
	2005 年	安曇野市が誕生



明治 6 年（1873）
臥雲辰致がガラ紡を発明



明治 35 年（1902）篠ノ井線が開通（白坂トンネル貫通祝記念）



大正 15 年（1926）造成中の深沢大王ワサビ田 出典：『目で見る明科史』



昭和 45 年（1970）井上靖、川端康成、東山魁夷が安曇野来訪



昭和 63 年（1988）長野自動車道豊科インターチェンジ開通



平成 16 年（2004）
安曇野地域合併協議会発足

年表で綴る・・・安曇野市誕生まで



昭和の大合併

明治維新以後、廃藩置県により郡県制が始まります。この地域は明治 4 年（1971）に松本県の所管に入り、ついで周辺の県と合併して筑摩県となりました。長野県に編入されたのは明治 9 年のことです。豊科町、穂高町、三郷村、堀金村、明科町の旧 5 町村の誕生は、昭和 28 年（1953）から昭和 36 年（1961）にかけて国主導で進めたいわゆる「昭和の大合併」によるものでした。合併に至るまでには町村ごとにさまざまな経緯があり、分村して別々の町になった村もありました。

安曇野市誕生まで（概要）

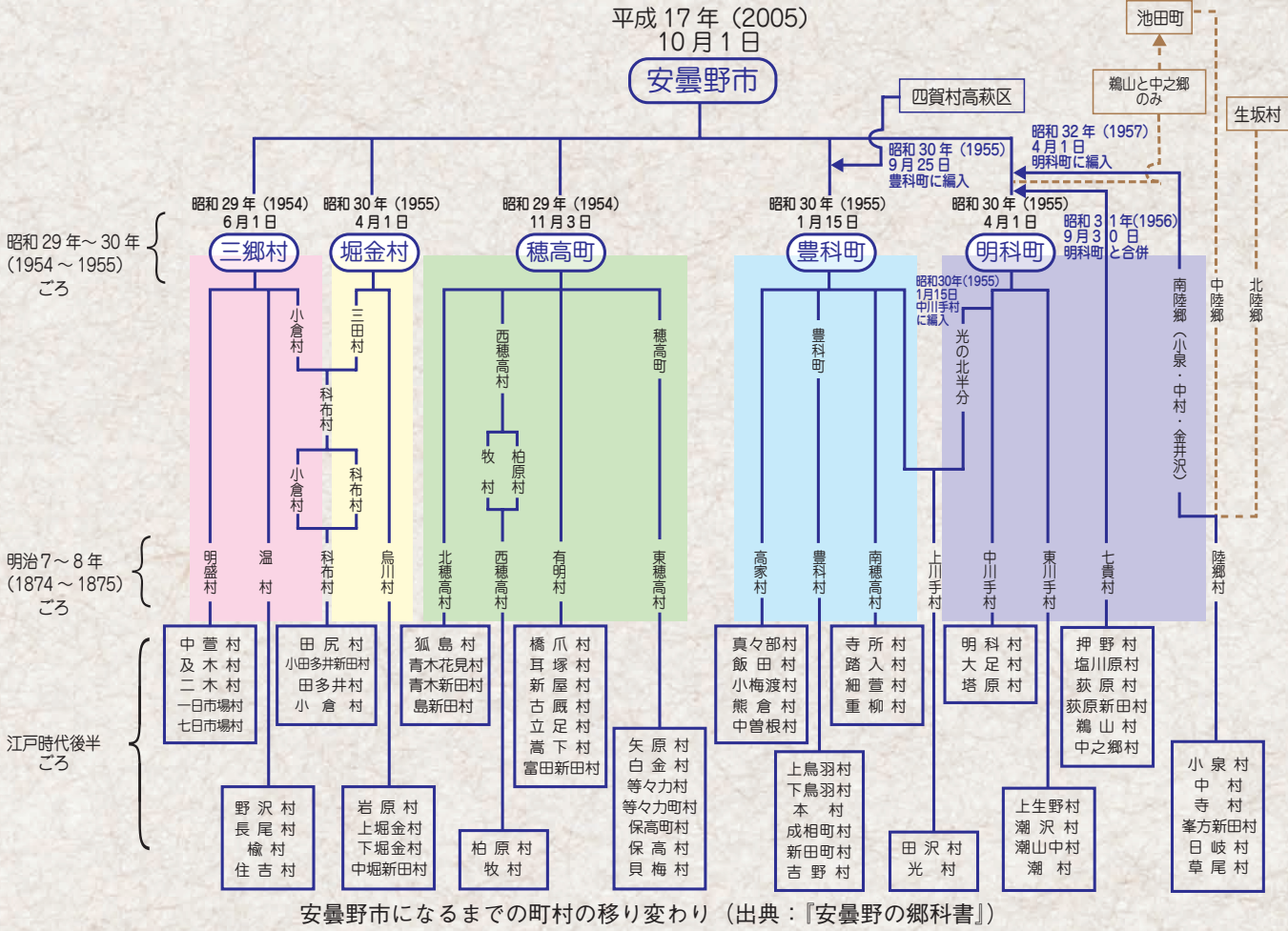
- 平成 16 年 7 月 23 日 5 町村安曇野地域合併協議会設置協議書調印式を開催
- 同年 12 月 14 日 新市名称が「安曇野市」に決定
- 平成 17 年 2 月 23 日 合併協定調印式を開催
- 同年 7 月 11 日 長野県議会において廃置分合の議案議決
- 同年 7 月 12 日 5 町村の廃置分合について県知事決定
- 同年 8 月 12 日 総務大臣による官報告示により「安曇野市」誕生が正式に決定
- 同年 9 月 30 日 安曇野地域合併協議会解散
安曇野市誕生カウントダウンイベント開催

交通の発達 篠ノ井線・大糸線が開通

山岳地帯で、川が急峻な長野県では、陸上輸送が主でした。商品流通が格段に増え始めた江戸時代中ごろからは、犀川通船や拾ヶ堰通船など大きな川や堰を利用した河川輸送が行われました。この交通輸送手段が劇的に変化するののは、鉄道の開通以後です。明治 35 年（1902）には国鉄篠ノ井線が、大正 5 年（1916）には信濃鉄道（現在の太糸線）が全線開通しました。道路は、昭和 13 年（1938）に国道 19 号（犀川線）が全線開通、昭和 28 年（1953）には国道 147 号が二級国道に指定されました。

産業の発展（天蚕、ワサビ、ニジマスなど）

交通の発達などにより、大正から昭和にかけては、米の生産のほかに好調な生糸の輸出により各地で天蚕業・製糸業が栄えました。やがて養蚕は衰退しますが、三郷地域では昭和 30 年ごろからリンゴ畑へと転換していきます。また、特産品のワサビ栽培は、明治の中ごろに始まりました。さらにワサビ田で利用する豊かな湧き水を活用して、大正から昭和の初めにかけてニジマス養殖が始まります。昭和 30 年代・40 年代には農業基盤が整ったほか、工場誘致も盛んに行われ、現在の産業発展の礎が築かれたのです。





初代市長 平林伊三郎氏が初登庁

平成17年・18年 2005・2006

安曇野市が誕生、市役所開庁

安曇野市誕生前夜、住民有志で構成する実行委員会が安曇野市誕生カウントダウンイベントを豊科スイス村サンモリッツで開催。翌日には市主催のオープニングセレモニー、職員への辞令交付式、選挙管理委員会、教育委員会など各行政委員会が開催されました。このほか市消防団発足式も行われました。

平成 17 年

- 9 月 30 日 安曇野市誕生カウントダウンイベント
- 10 月 1 日 安曇野市発足
 - 23 日 市長・市議会議員一般選挙で初代市長に平林伊三郎氏が当選
- 11 月 7 日 安曇野市議会がスタート
- 12 月 26 日 堀金小学校が完成

平成 18 年

- 1 月 6 日 第 1 期地域審議会委員を委嘱
- 31 日 穂高西部児童館が完成
豊科南小学校大規模改造工事が完了
- 2 月 26 日 合併記念式典を豊科公民館ホールで開催
- 3 月 15 日 明南小学校・明科中学校共用プールが完成
- 6 月 11 日 合併記念「NHK のど自慢」を穂高会館で公開生放送
- 7 月 1 日 埼玉県三郷市・奈良県三郷町と友好都市提携を再締結
- 19 日 梅雨前線の影響で記録的豪雨。明科地域の小泉・荻原・木戸地区に避難勧告
- 9 月 30 日 神奈川県真鶴町と友好都市提携を再締結
- 10 月 4 日 信州大学人文学部との連携協定再締結
- 7 日 第 1 回安曇野フェスタを安曇野スイス村サンモリッツで開催



この年日本では（平成 18 年）
・平成の大合併、全国の市町村が 1,820 に
・トリノ五輪フィギュア荒川静香が金メダル獲得
・流行語◎イナバウアー / 格差社会



安曇野市誕生カウントダウンイベントを開催



オープニングセレモニーで市章をデザインした古川賢一郎さんを表彰



本庁舎開庁セレモニー



安曇野市議会スタート



堀金小学校が完成



豊科南小学校大規模改造工事が完了



穂高西部児童館が完成



安曇野市合併記念式典を豊科公民館ホールで開催



明南小学校・明科中学校共用プールが完成



第 1 回安曇野フェスタ開催



国道 147 号高家バイパス開通



渡り初め



観光協会発足記念式典を開催



市夜間急病センターがオープン



市区長会が発足



「全国みどりの愛護のつどい」皇太子ご夫妻来訪



南部学校給食センターが完成



中部学校給食センターが完成



デマンド交通あづみんが試験運行開始



市内全域の新成人式を初開催

平成19年

2007

アルプス大橋完成で国道 147 号高家バイパス全通

あづみ野産業団地東にアルプス大橋が完成し、全長 4.2 キロの「国道 147 号高家バイパス」が全線開通しました。7 月 25 日には、開通式を祝う式典と渡り初めが行われ、安曇野市、松本市の両市民など 500 人以上が参加しました。

- 1 月 8 日 成人式を市全体で初開催
- 2 月 1 日 松本広域森林組合が発足
- 5 日 東京都武蔵野市と友好都市提携を再締結
- 3 月 6 日 旧 5 町村の観光協会が合併調印。3 月 28 日に発足記念式典。6 月 1 日から正式発足
- 8 日 黒沢洞合自然公園が完成
- 4 月 1 日 市商工会発足。旧 5 町村の商工会が合併
- 11 日 市夜間急病センターがオープン
- 19 日 名誉市民・高橋節郎さん逝去
- 5 月 21 日 市内で三郷サミットを開催
- 23 日 市区長会が発足
- 23 日 名誉市民・熊井啓さん逝去
- 6 月 2 日 第 18 回全国みどりの愛護のつどいが国営アルプスあづみの公園で開催。皇太子ご夫妻来訪
- 7 月 25 日 国道 147 号高家バイパスが開通
- 25 日 中部・南部両学校給食センターが完成
- 8 月 4 日 東京都江戸川区と友好都市提携を再締結
- 9 日 安曇野ブランドデザイン会議が発足
- 14 日 安曇野花火大会を明科御宝田遊水池で初開催
- 9 月 10 日 デマンド交通あづみんが試験運行開始
- 11 月 4 日 クラムザッハ町と姉妹都市提携を調印
- 20 日 地方自治法施行 60 周年記念式典で市が自治功労者表彰受賞
- 12 月 5 日 市功労者表彰式初開催



この年日本では
・年金記録漏れ判明
・能登半島沖、新潟中越沖と地震が相次ぐ
・流行語◎そんなのかんけいねえ / ハニカミ王子



三郷児童館が開館

平成20年

2008

土地利用規制を自主条例で統一する方針決定

都市計画に関する土地利用市民検討委員会は3月18日、市の統一した土地利用管理の方向性について、市長へ提言書を提出しました。それぞれ異なる3つの土地利用の管理手法の統一に向けた方針が決定されました。

- 2月28日 旬の味ほりがね物産センター組合が農林水産大臣賞を受賞
- 3月18日 市の統一した土地利用管理の方向性について提言書提出
- 26日 穂高交流学习センターが起工
- 27日 穂高有明の上水道施設が完成
- 4月17日 三郷児童館が完成
- 17日 本庁舎等建設検討委員会が「本庁舎等建設についての提言書」提出
- 22日 礫山美術館が開館50周年
- 7月～ 安曇野ふるさと寄附開始、「水」「食」「交流」3つのプロジェクトで活用
- 8日 「安曇野にふさわしい理想の夫婦」に映画監督・篠田正浩さん、女優・岩下志麻さん夫妻を委嘱
- 23日 堀金保育園が完成
- 10月6日 本庁舎等建設審議会が本庁舎等の建設に関する事項を諮問
- 7日 旧穂高保健センターを活用し「市民活動センターくるりん広場」がオープン
- 12月17日 あづみん利用者が10万人突破



この年日本では
・東海北陸道全線開通
・後期高齢者医療制度スタート
・流行語◎アラフォー／グ〜！

礫山美術館が開館50周年



mini コラム COLUMN

日本近代彫刻の祖・荻原礫山（本名・守衛）を顕彰する礫山美術館。礫山の遺作は、明治43年の没後、新宿中村屋の離れの建物や郷里の穂高・矢原の別棟で守り続けられました。時を経て昭和33年、礫山を慕う多くの人々の純粋な心と情熱が結実し、美術館が建設されました。全国、海外約30万人から寄せられた寄附金は、837万円となりました。



旬の味ほりがね物産センター組合が農林水産大臣賞受賞



統一した土地利用管理の方向性について提言書提出



穂高有明の上水道施設が完成



市民活動センターくるりん広場が開館



安曇野の理想の夫婦に篠田、岩下夫妻



穂高交流学习センター「みらい」が開館



旧国鉄篠ノ井線漆久保トンネル散策路が開通



穂高神社大遷宮祭



乗り合いタクシーあづみんが国土交通省大臣表彰を受賞



有明の森保育園開園



有明あおぞら保育園開園



宮澤宗弘氏が初登庁



姉妹都市オーストリア・クラムザッハ町へ市として初公式訪問

平成21年

2009

穂高神社で20年に一度の大遷宮祭

5月2日から17日を中心に穂高神社で行われた「大遷宮祭」。500年以上前から行われているこの祭りをひと目見ようと、市内外から約56万人が訪れました。また、穂高交流学习センター「みらい」が開館し、生涯学習の拠点が整備されました。

- 2月26日～本庁舎等建設検討市民説明会を開催
- 3月13日～土地利用に関する地区別懇談会開催
- 4月8日 旧国鉄篠ノ井線漆久保トンネルが散策路として再び開通
- 30日 新型インフルエンザ対策本部設置
- 5月2日～穂高神社大遷宮祭開かれる
- 27日 広報あづみののが全国広報コンクール（市部門）で第1席入選
- 18日 本庁舎等建設審議会が本庁舎等建設基本構想を答申
- 20日 有明あおぞら保育園が完成
- 6月25日～姉妹都市オーストリア・クラムザッハ町へ、市として初の公式訪問
- 7月8日 乗り合いタクシーあづみんが国土交通省大臣表彰を受賞
- 18日 「安曇野市プレミアム商品券」を販売
- 25日 あづみ野祭りが30周年、3,200人が参加
- 30日 明科社会就労センターが完成
- 8月2日 市消防団音楽喇叭隊が県大会第5位
- 9月12日 穂高交流学习センター「みらい」が完成
- 28日 有明の森保育園が完成
- 10月11日 市長・市議会議員一般選挙で第2代市長に宮澤宗弘氏が当選
- 11月19日～本庁舎建設検討の経過を5地域で説明
- 25日 最終処分場検討委員会候補地を選定



この年日本では
・新型インフルエンザ流行
・裁判員制度スタート
・高速道「上限1000円」スタート
・流行語◎こども店長／草食男子



長野自動車道梓川スマート IC 開通



県総合防災訓練が市内で開催

平成22年

2010

長野自動車道梓川スマート IC 開通

中信地区初となる ETC（自動料金収受システム）専用の「スマートインターチェンジ」が11月27日、長野自動車道梓川サービスエリアに開通しました。開通式には、約70人の関係者が出席。テープカットやくす玉で、地域の新たな玄関口の完成を祝いました。

- 1月 4日 新年祝賀会を初開催
- 8日 安曇野高橋節郎記念美術館の来館者が10万人達成
- 3月 8日 明科北保育園が完成
- 4月 1日 旧国鉄篠ノ井線三五山トンネルが散策路として再び開通
- 22日 荻原碌山が没後100年。碌山忌が碌山美術館で営まれる
- 5月28日 市役所本庁舎の最終候補地を発表
- 6月27日 第1回安曇野市民スポーツ祭を開催
- 7月10日 明南小学校で、開校50周年記念式典を開催
- 26日 地下水にかかわる研究委員会が発足
- 27日 福岡市東区との青少年交流が20周年
- 8月 1日 市消防団第6分団（明科）が小型ポンプ操法の部で県大会第3位
- 9月26日 県総合防災訓練が市内を会場に開催。98団体3,700人が参加
- 10月 1日 豊科総合支所内に「安曇野市水道料金センター」開設
- 1日～信州デスティネーションキャンペーンが県内一斉に始まる。これに合わせて穂高駅、豊科駅、有明駅が改修される
- 11月 6日 明北小学校で、開校50周年記念式典を開催
- 27日 長野自動車道梓川スマート IC 開通



この年日本では
・子ども手当支給開始
・113年間で最も暑い夏、気象庁発表
・流行語◎げげのー



荻原碌山が没後100年、碌山忌が営まれる



明科北保育園が完成



第1回安曇野市民スポーツ祭



福岡市東区との青少年交流が20周年



明南・明北小学校開校50周年



水道料金センター開設



安曇野赤十字病院の改築事業が完了



堀金児童館が開館



豊科交流学习センター「きぼう」使用開始



岩手県遠野市へ救援物資を送る



平和のつどい・戦没者追悼式



NHK連続テレビ小説「おひさま」が放映（主演の井上真央さん）

平成23年

2011

安曇野がNHK朝の連続テレビ小説「おひさま」の舞台に

戦争をはさんだ昭和という激動の時代、人々をおひさまのように明るい希望で照らす女性の姿を描いた「おひさま」。安曇野・松本が舞台となりました。この影響で安曇野を訪れる観光客が大幅に増加しました。また、安曇野赤十字病院の改築事業が完了し、医療施設の充実が図られました。

- 1月27日 豊科南部保育園新園舎が完成
- 13日～5地域に「移動市長室」を初開設
- 2月11日 豊科交流学习センター「きぼう」が使用開始
- 15日 三郷トマト栽培施設の指定管理者決定
- 3月 8日 安曇野赤十字病院の改築事業が完了。市内唯一の公的医療機関への建設支援
- 14日 東日本大震災被災地へ救援物資輸送。岩手県遠野市へ送る
- 4月～ 安曇野市の適正な土地利用に関する条例が施行
- 4日 NHK連続テレビ小説「おひさま」放映開始
- 14日 堀金児童館が開館。旧堀金保育園舎を活用
- 6月30日 市役所本庁舎基本設計業者を決定
- 7月～ 福祉バス市内全域で運行開始
- 6日 武蔵野サミットを市内で開催。10市町村で災害相互支援を宣言
- 25日 新本庁舎の住所が「豊科6000番地」に
- 8月 6日 地下水シンポジウムを堀金で開催
- 7日 集中豪雨により三郷地域の水道水に濁り発生
- 9月24日～全国安曇族サミットを市内で開催
- 10月 1日 住ま居る（スマイル）応援制度が始まる
- 1日 デジタル移動系防災行政無線が開局
- 28日 豊科東小学校で開校30周年記念式典を開催
- 11月26日 平和のつどい・戦没者追悼式を穂高交流学习センター「みらい」で初開催



この年日本では
・東日本大震災
・日本女子サッカー、ワールドカップで優勝
・流行語◎なでしこジャパン



北部学校給食センターが完成

平成24年

2012

豊科インターチェンジから 安曇野インターチェンジに名称変更

昭和 63 年の開設以降、安曇野および大北地域への玄関口として、利用されてきた長野自動車道豊科インターチェンジが10月7日、安曇野インターチェンジに名称変更されました。安曇野の知名度向上と地域経済の振興が図られました。

- 1月 新本庁舎の基本設計まとまる
- 2月 20日 北部学校給食センターが完成
- 3月 10日～新本庁舎基本設計の市民説明会開催
- 22日～公式訪問団がクラムザッハ町を訪問
- 4月 1日 観光情報センターがオープン
- 3日 子ども発達支援相談室を開所
- 20日 田淵行男さんの昆虫細密画が寄贈される
- 28日 ほりでーゆ～四季の郷の大規模改修工事が完了。営業再開
- 6月 27日 松本山雅 FC へ資本参加、ホームタウンに
- 8月 24日 市地下水資源強化・活用指針を報告
- 9月 5日～ロンドン・2012パラリンピックに樋口さんが出場
- 27日 川端康成の書などが寄贈される
- 10月 1日 屋外広告物条例制定
- 7日 豊科インターチェンジから安曇野インターチェンジに名称変更
- 12月 19日 「安曇野市平和都市宣言」を制定
- 20日 豊科地域の「線引き制度」が廃止。土地利用制度が統一される
- 25日 明科支所・公民館が一部完成、使用開始
教育委員会は旧明科公民館へ移転



この年日本では
・東京スカイツリー開業
・新東名高速、御殿場一三ヶ日間開通
・流行語◎ワイルドだろ



安曇野インターチェンジに名称変更



公式訪問団がクラムザッハ町を訪問



観光情報センターがオープン



ほりでーゆ～四季の郷の大規模改修工事が完了



松本山雅 FC ホームタウンに



昭和 45 年来訪時の川端康成の書が寄贈される

mini コラム

COLUMN

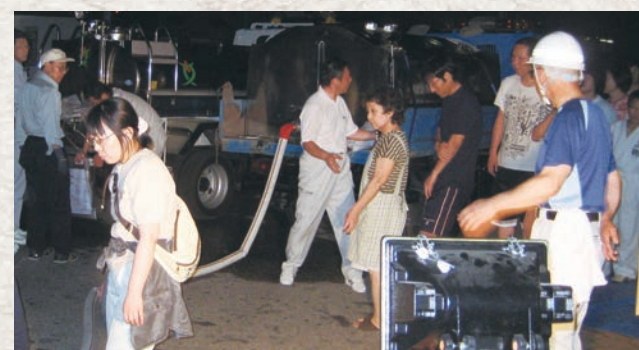
昭和 45 年 5 月中旬、日本を代表する小説家である川端康成、井上靖、日本画家の東山魁夷の 3 氏が安曇野を訪れ、風光明媚な眺めを堪能されました。一行が真っ先に向かったのは長峰山頂。このときの情景を井上氏は「梓川と高瀬川の合流点は美しい。高瀬川が大きいカーブを描いて梓川の横っばらに流れ込む、その流れ込み方がい。槍ヶ岳の東面と北面に発する二つの川が、それぞれ大きくく回して邂逅（かいこう）する邂逅点は、まさにこのようなものでなければならぬという気がする。激しく、大きく、おおかである」と書き残しています。



新本庁舎建設が始まる



農作物に凍霜被害



三郷地域で水道水が濁る（給水活動）



中学生議会を初開催



北穂高保育園改築工事が完了



樋口政幸さんが I P C 世界大会でメダル獲得



安曇野産わさび全国品評会で初の日本一



明科支所・公民館が完成

平成25年

2013

地下水保全に向けて条例施行

地下水を市民共有の財産として、地下水利用者の利用状況の届け出および年間利用量の報告の義務化、新規取水者の事前届け出制および一定量以上を取水する場合等の事前協議の義務化などを定めました。

- 1月 17日 北穂高保育園改築工事が完成
- 3月 27日 新本庁舎建設工事が始まる
- 4月 1日 地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例が施行
- 11日～農作物に凍霜被害
- 26日 長峰山に新休憩展望台が完成
- 28日 ふるさと観光大使に上松美香さんを任命
- 4月～5月 早春賦誕生 100 年各種イベント開催
- 5月 2日 清澤潤「暗黒日記」の原本が寄贈される
- 5日 童謡祭り 50 年
- 25日 県立こども病院創立 20 周年記念式典開催
- 6月 8日 松本山雅 FC、J 2 公式戦でホームタウン
安曇野市デーを開催
- 8日 県民豊科運動広場改修拡張工事が完了
- 20日 松くい虫被害対策に無人ヘリコプターによる薬剤散布を導入
- 7月 1日 安曇野市議会基本条例施行
- 10日 三郷地域約 5000 世帯で水道水が濁り断水
- 8月 6日 中学生議会を初開催
- 20日 車イス陸上競技・樋口政幸さんが I P C 世界大会で日本人初のメダル獲得を報告
- 9月 14日 講堂棟が完成し、明科支所・明科公民館全施設が利用開始
豊科近代美術館新館部分の増築工事が完了
- 20日 新本庁舎周辺の幹線道路が開通
- 10月 6日 宮澤宗弘市長が再選、議員定数 25 に
- 21日 学校給食に「中村屋カレー」が登場
- 29日 安曇野産わさび（穂高・有賀均さん生産）が全国品評会で初の日本一
- 11月 16日～第 1 回信州安曇野新そばと食の感謝祭開催



この年日本では
・富士山、世界文化遺産登録
・特定秘密保護法 成立
・流行語◎今でしょ / おもてなし / じゃじゃじゃ / 倍返し



高家スポーツ広場が完成



関東甲信地方を中心に記録的豪雪

平成26年

2014

関東甲信地方を中心に記録的豪雪

発達した低気圧と上空の寒気の影響で2月14日から15日にかけて、関東甲信地方を中心に記録的な大雪になりました。観測地点のある松本市では、2月の24時間降雪量としては過去最高の42センチを記録。国道19号や長野自動車道が通行止めとなり流通が滞るなど市民生活に大きな影響が出ました。

- 2月14日～関東甲信地方を中心に記録的豪雪
- 3月29日 豊科郷土博物館改修工事が完了
- 4月10日 ふるさと観光大使に、(株)中村屋を任命
- 26日 国営公園に田園文化ゾーンオープン
- 5月28日 「市歌制定委員会」を設置。市歌を募集
- 6月19日 松くい虫で有人ヘリ薬剤空中散布（明科・岩州公園周辺）
- 28日 高家スポーツ広場が完成
- 7月2日 名誉市民・田淵行男さん宅跡に記念碑建立
- 三郷南部保育園が移転新築完成
- 4日 市制施行10周年記念事業市民会議を設置。市民提案事業を募集（7月～9月）
- 8月3日 東京都江戸川区との友好都市交流が40周年。同区で記念式典開催
- 17日～豊科北中陸上部、全中陸上競技・女子4×100メートルリレーで準優勝
- 9月30日 県内初「市歯科口腔保健条例」を施行
- 10月12日 信州安曇野ハーフマラソンプレ大会開催
- 18日 アジアパラ競技大会で樋口政幸選手（豊科）が銅メダル獲得
- 30日 豊科南・北中学校で開校30周年記念式典開催
- 11月2日 堀金一周駅伝が50回の節目
- 10日 第4回平和首長会議国内加盟都市会議（松本市）で宮澤市長が事例発表
- 25日 松本山雅FCがJ1昇格報告
- 12月3日 市役所新本庁舎で記念植樹



この年日本では
・各地で記録的集中豪雨
・御嶽山噴火
・流行語◎ダメよ～ダメダメ



三郷南部保育園が移転新築完成



江戸川区との友好都市交流が40周年



豊科北中陸上部、全中陸上競技・女子4×100メートルリレーで準優勝



信州安曇野ハーフマラソンプレ大会開催



市役所新本庁舎で記念植樹



松本山雅FCがJ1昇格。堀金公民館で報告会



新本庁舎・防災広場しゅん工式



市役所新本庁舎で業務開始



新本庁舎開庁式



東金市と友好都市締結



開庁記念イベントを開催



クラムザッハ町公式訪問団来訪



全国名水サミットを開催



第1回信州安曇野ハーフマラソンを開催



穂高会館の改修工事が完了

平成27年

2015

市役所新本庁舎で業務開始

市制施行10周年記念事業を開催

1月22日には、待望の市役所新本庁舎が完成し、まちづくりの拠点が整備されました。5月7日には、本格的に業務を開始しました。
市制施行10周年を記念して、市民協働事業のほか、市歌の制定や第1回信州安曇野ハーフマラソン、全国名水サミット、市制施行10周年記念式典など多彩な催しが開催され、一体感の醸成が図られています。

- 1月22日 安曇野市新本庁舎・防災広場しゅん工式を開催
- 3月21日 中学生をオーストラリアへ派遣
- 29日 穂高会館の改修工事が完了
- 3月 地域審議会の設置期間が3月末で終了
- 4月1日 新本庁舎へ一部業務が移転
- 5日 千葉県東金市と友好都市締結
- 6日 「市歌制定委員会」で市歌歌詞決定
- 15日 市内初のラウンドアバウト交差点（本村「円」）が開通
- 17日 三郷地域の水源転換工事が完了
- 5月7日 市役所新本庁舎で業務開始
- デジタル同報系防災行政無線が開局
- 23日～市役所開庁イベントを開催
- 6月7日 第1回信州安曇野ハーフマラソンを開催
- 7月 4月からのふるさと納税が3億円を超える
- 5日 市消防団、松本消防協会大会3部門で優勝
- 26日 市消防団第4分団（豊科）が小型ポンプ操法の部で県大会準優勝
- 8月28日 第29回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会（名水サミット）を開催
- 9月12日 松本山雅FC公式戦パブリックビューイングが市役所で行われる
- 10月4日 市制施行10周年記念式典を開催
- 10日 市民まつりを開催（予定）
- 21日 安曇野市1/2成人式を開催（予定）
- 11月21日 平和のつどいで被爆アオギリ二世の苗を植樹（予定）